

す ぷ り ん ぐ

会報 通算第 4 号 2014, 10 月発行



【はじめに】

すっかり、秋も深まってまいりました。秋の味覚も出回り、食においても楽しい季節です。また、ファッションを楽しむのにもいい季節になってきました。今年はずエックが流行りだそつです。

さて、すぷりんぐの大きなイベントが次々に開催されました。「障がいのある人のファッションと福祉を考える」フォーラムは、たまたま雑誌で須藤シンジさんの記事を目にして、「この方の話を是非札幌で聴きたい」と思った一人の会員さんの声から実現しました。

そつです、昨年末に会員みなさんに今後何かやってみたいことはありますか？というアンケートをお願いいたしました。その時の意見でした。それが、ヤマト福祉財団さんの助成金を頂けることになり実現することができたのです。

すぷりんぐでは、これからも会員みなさんの希望

を取り入れて夢を叶える事業をしていきたいと思えます。

そんな大きなことばかりやって心配だと思つ方もいらっしゃるでしょう。でも、小さなことでも大きなことでも、チャレンジすることに意義があります。そこにたどり着くまでの経験や関わり、そしてその達成感はやらなくては味わえないものです。どうぞたくさんの方にその楽しさを知っていただきたいと思えます。

改善すべきことも、もちろん反省しながら先に進めていきますね。

まだまだ、障がいを持つ者にとつては、物理的にも人々の心のバリアも残念ながら多くあります。それを、変えていくために私たちの活動があります。

昔テレビで「暗いと不平を言うよりも進んで明かりをつけましょう」とキャッチフレーズがありました。不平をいう団体ではなく、自分たちができることを実践し、社会に混ざり合つて

いく、自ら明かりをつけて行く「障がい当事者講師の会すぷりんぐ」を目指しましょう！そんな活動に理解と協力を下さる皆様に心よりの感謝申し上げます。

(代表 牧野准子)

【活動報告】

【すぷりんぐマナー講座】

平成二十六年六月二八日(土曜日)身障者センターにて、すぷりんぐ初の試みとしてマナー講座を行いました。参加者は一八名。

日常生活でのちょっとしたマナーや、お仕事上のちょっとしたルールなど意外と知らないことや忘れていたこともたくさんあることを認識した二時間でした。

参加者からは「意外と知らないことも多くてびっくりしました」ととてもためになりました「など喜びの声が届きました。

【ピアガーデン®

バリアフリーチェック】

平成二六年七月二六日(土曜日)あいにくの大雨の中、

総勢二〇名の参加で、ピアガーデンに行きました。今回は、札幌の夏イベントの代表格ピアガーデンのバリアフリーチェックを兼ねての行事です。雨の中参加していただいた皆様には雨ならではのチェックもしていただきました。雨とはいえずらしい気温に、美味しいビールの勢いも良く和気あいあいと、楽しい時間が過ごせました。みんなでバリアフリーチェックは、今後いろいろなイベントでできたいですね。

集計結果は、みなさんに発表しますので、もう少しお時間くださいね。

【おしゃべり会】

平成二六年八月一七日(日曜日)と二十三日(土曜日)に、ちょっとおしゃべりしませんか・・・

そんなお声掛けをさせていただきますました。正直、初の試みで、執行部はドキドキでも、心配することなくお話がてら立ち寄ってくださった皆さんと、いろいろお話をさせていただきました。フォーラムの打ち合せも含

めながら、ちょっとおしゃべり・・・たまには、こんな企画もいいものですね・・・そんなお声もいただきましたので、今後考えていけたらいいなと思います。



【ヤマト福祉財団助成事業】 終了の「報告」

【三二大通り】

おむすぽまつり

平成二十六年九月十四日午前十時から、中央区北三条西一三丁目から一七丁目で、三二大通りおむすぽまつりが開催されました。すぷりんぐも十三丁目会場でお店しました。会員さん手作りによる小物がたくさん。9月27日のフォーラムに向けて、PRイベントとして参加いたしました。そして、準会員伊橋麻美さんと、彩メイクケア協会の皆様の「おしゃれコーナー」で、ワンコインネイル体験や、眉メイク体験をしていただ

きました。またすぷりんぐの活動を支援していただく募金をいただいた方に、素敵なお花のポストカードをプレゼントさせていただきました。

出店は初めての試みでしたが、いろんな皆さんと出会えたことが何よりの宝物となった一日でした。ご協力いただいた会員の皆様、本当にありがとうございました。



【障害がある人のファッションと福祉を考える】

フォーラム

平成二十六年九月二十七日（土曜日）午後一時からエスタ十一階プラニスホールにて、公益財団法人ヤマト福祉財団助成事業「障がいがある人のファッションと福祉を考える」を開催しました。

第一部は、NPO法人ピールデザイン研究所代表 須藤シンジ氏講演会で、「ピールデザインが目指す【超】福祉」と題しお話しいただきました。

欧州では当たり前前の混ざり合う社会、日本ではまだまだぎこちない。健常者と障がい者の壁の存在。本当の意味での心のバリアフリーを広げ、札幌の街をもっと素敵にしていってと力強いメッセージをいただきました。



第二部フォーラムでは、池田真紀さんを進行役に、講師の須藤シンジ氏と、北海道ドレスメーカー学院院長 浅井洋子先生、北海道医療大学理学療法学科教授 鈴木

木英樹先生、すぷりんぐ会 員一期生の塚本美重子さんそして牧野准子すぷりんぐ代表で、札幌の街をどんなふうに元気にしていきたいかを意見交換。各パネリストみなさんの自分の日常から思ふことを伝えていただきました。



須藤シンジ氏からはさりげなく混ざり合うバリアフリーの街・人・心の作り方の心のバリアフリーを持った人が本当のカッコいい人であるなどの言葉が印象的でした。

浅井先生の広い視野からのお話と海外でのバリアフリー事情など北海道をおしゃれにすることに

発展にもつながることなど力づよいお言葉。そして、

鈴木先生の、障がいを持つ子供さんとの関わり、理学療法士としての立場でのお話し、半径1.5mから変えて行こう！という実践力指導。塚本さんは当事者として、プロのメイクを体験した経験を交えて、仲間の力が街や人を変えていくと繋がり大切さを伝えていただきました。牧野代表からは、プロとしてデザインや建築に携わってきた経験を踏まえ、当事者になった今思えること、気づくことを伝えてもらい、とても一時間半じゃもったいないフォーラムとなりました。

また、一部と二部の間の休憩時間を利用して、「三二ファッションショー」を開催。モデルは二期生高橋めぐみさんと、四期生大谷哲也さん。一般社団法人彩メイクケア協会、松平芽子理事長と外崎由香副理事長によるカラー診断と、ファッションコーディネート、プロのメイク技で二人はなりたいイメージに変身！高橋

さんは「リカちゃん人形」のように、大谷さんは「E X-LINE」のようなカッコいい大人をイメージして。嬉しそうに顔の二人がとっても輝いて見えました。翌日、北海道新聞にも掲載していただきました。



そして、今年はりんごの生育が早く、予定のりんご狩り行事より早くに収穫することになった「すぶりんご」もチャリティー販売させていただきました皆さんに喜んでいただきました。会場は、気づけば満席。たくさんの方の皆さんの温かいお心に支えられて、無事に終了させていただきましたことを本当に幸せに感じました。ヤマト福祉財団様のおかげで助成金をいただき、この事業をさせていただけたこと

と、そして多くの皆様と新しい出会いをさせていただけたこと、心から感謝申し上げます。この挑戦は、私たちすぶりんぐにとって、大きな力となったことをご報告させていただきます。

この、フォーラムではボランティアさんの力も大きな支えとなりました。そして、会場の様子を見ていた方からは「今回のボランティアさんは素晴らしいですね」とお褒めの言葉も頂き、私たちも嬉しく誇りに思いました。ボランティアスタッフのみなさん、ありがとうございました。



また今回、残念ながらお越しいただけなかった皆様にも、いつもすぶりんぐの土台をしっかりと支えていただいていることに、感謝申し上げます。

♥フォーラムに参加してくださった方のアンケートに頂いた感想から

とにかく気づきだらけでした。美しさでファッションの大切さ、北海道の可能性、日本の国が抱える問題、世間の世知辛さなどいろいろ考えさせられました。

私は障がい特性もあり、想像すること、ないものを作るのが苦手ですが、少しでもそうした力を身に付けて行きたいと思えます。皆様からたくさんのパワーを頂き、楽しませて頂きましたし、自分の甘さも思い知らされました。

お金に余裕がないので、申し訳ないことに本は買えませんでしたが、いつか買いたいです。今日はとても良い時間を過ごさせてもらいました。

自分の持っているものを活かした生き方について、感謝の大切さについて愛や優しさを小さなものであっても行為で示すことの素晴らしさについて、日々意識しようと思いました。

「世間がなんだ！人の手を借りることは恥ずかしいことではない」とも考えていきたいです。この他にも

感じたことは山のようにありますが書ききれません。ありがとうございました。（その他、たくさんの方の参加して良かったという声を頂きました）

須藤シンジ氏とボランティアさんとすぶりんぐの仲間たち！！



【三角山放送局イベント一緒にねー文化祭】ファッションショー参加】

平成二十六年十月四日（土曜日）北翔大学北方圏研究所ポルトホールにて行われたイベントの中のファッションショーにモデル10名で参加しました。フォーラムでは時間がなくて二名の参加になりましたが、ここではその二人を含むメンバーのバラエティーに富んだ

北翔大学の学生とすぶりんぐの仲間たち！



参加に拍手喝采を頂きました。上村さんのあいさつで始まり、山登りファッション親子、ちよい悪オヤジ風仁義なき戦い、オータムファッション、りかちゃん人形、着やすさ重視のリメイク、ロンドンファッション、車いすの花嫁などそれぞれのテーマで登場。

北翔大学の学生さんとコラボレーションをして手持ちの服を学生がコーディネートしたりメイクをしてくれて障がいがあっても着やすく、楽しく着られる工夫がたくさんありました。

ステージが終わった後のみんなの笑顔と自然に関わり、さりげなく手を貸して

くれる学生さんの姿が印象に残る忘れられない一日になりました。

「」でも、彩メイクケア協会の松平芽子さんと外崎由香さんたちにお世話になりました。

お知らせのコーナー

【音声ガイド付映画のご案内】

「音声ガイド」付の映画が公開されます。

「音声ガイド」とは、映画の場面解説のナレーションをFM電波で発信することで、ラジオで音声ガイドを聞きながら映画を鑑賞できるというものです。

近年、市民団体や音訳ボランティア向けに「バリアフリー上映」が少しずつですが進んでいます。イメージが膨らみ、作品を理解しやすいと好評です。

札幌でも音声ガイド付き映画が広まっています。

※音声解説方式はFM電波による受信形式です。
もっと詳しい情報が知りたい方は、

い方は、札幌市視覚障害者協会の小宮さん（０１一六四四一八三二〇）にお問い合わせください。

【相談会のご案内】

介護で悩んでいること、困っていること、将来への不安…ありませんか？

◆介護に関する相談会◆

介護について悩んでいる方にお薦めの情報です。

介護は一人で出来るものではありません。どうしても周りの人の協力や支援が必要になってきます。

でも「在宅で介護を考えているんだけど、どうしたらいいの?」「介護サービスを利用するには、どのような手続きを行えばいいの?」「どんな介護サービスがあるの?」「サービスの利用料やどれくらいかかるの?」などなど、様々な疑問や不安を抱えて、なかなか一歩踏み出せないでいる方も少なくはありません。

超高齢社会を迎え、介護の支え合いが男女平等参画の上からも重要になってきています。

介護の悩みや不安、在宅介

護についての困りごと、親などの将来の介護、男性介護者としての悩み、施設や高齢者住宅のこと、また、介護に係る費用のことなど、どなたでもお気軽にご相談ください。

※相談方法 予約制による面談または電話による個別相談（無料）

※一人（グループ）三十分間。社会福祉士が相談に心じます。

【日時】平成二十六年十月二十五日（土）十三時から

【場所】北海道立女性プラザ（札幌市中央区北二条西七丁目 かねてる２・７ 六階）

【申込方法】平成二十六年九月二十五日（木）から予約受付開始

電話または女性プラザ受付窓口でお申込みください。
（受付時間 月～土 九時～十七時）
電話 〇一―二五―一六三二九 北海道立女性プラザ

※主催 北海道女性協会



【おすすめイベント①】

『第三十回手作りフェスティバル2024 北海道』

日時平成二十六年十月十日～十一日午前十時より
場所 北海きたえーるメイシアターナ（豊平区豊平五条十一丁目一）

手作り作家さんの頒布会や、手作り体験、トークショーなど盛りだくさんです。

十月十一日には、十時～準会員の大海恵聖さんの手作り作品を、登り口倫子さんが着て登場するファッションショーや、十四時から、フォーラムで素敵なお話を

していただいた北海道下しスメーカー学院院長浅井洋子先生のトークショーがあります。ぜひお誘いあわせの上、「参加くださいませ。」

【おすすめイベント②】

NPO法人イコールさんからの情報提供です。

とよひら福祉フォーラム二〇一四「とよひら」からやさしい風を… みんなで取り組む街づくり

豊平地域部会は、やさしい街「とよひら」をめざして、より多くの方々にしようがいしやの地域生活の現状等を知っていただき、誰もが安心して暮らせる地域社会を共に考えていくことを目的として、毎年「福祉フォーラム」を開催しています。

昨年、目まぐるしく変わる福祉政策に振り回され、しょうがいしゃ一人ひとり、は混乱の中、制度に合わせる生活に疑問を持つ余裕もなく流されてはいないでしょうか？

障がい者一人ひとりがその人らしく普通に生きることがどんな事？
つい四十年前の日本には障がい者の社会生活という概念は全くありませんでした。そこでは障がい者自身

が命懸けで訴え活動してきました。普通に生きたい、そんな当たり前のことだけを願って。



今年のフォーラムではそんな闘いをずっと続けてこられた三井絹子さんとその仲間たちをお招きして、もう一度障がい者の制度や原点を見つめ直してみたいと思います。

日時 平成二十六年十月十一日(土) 十三時～十六時
(会場13時)

場所 月寒公民館 札幌市豊平区月寒中央通7丁目8-19(地下鉄「東豊線」月寒中央駅下車徒歩3分)
※駐車場に限りがありますので公共交通機関をご利用ください。

定員 300人 お申し込みは必要ございません。直接会場へお越しください。
※満席になり次第入場をお断りする場合がございますので、ご了承ください。
井上晴菜さんの 体験劇もあります。ぜひ皆様お誘いあわせの上ご来場ください

【おすすめイベント③】

今年もアクセスサッポロで『いきいき福祉・健康フェア2014』が開催されます。福祉機器の展示などします。
日時 平成二十六年十月十七日(金)～十九日(日)
午前十時～午後五時 * 最終日は午後四時まで
入場 無料

送迎バス 会場最寄り駅(地下鉄東西線・大谷地駅)より無料シャトルバスを運行 予約なしで車いすでも乗車可能です。
<http://www.waxes.or.jp/kifuku/>

【おすすめイベント④】

『第十回 わっしょいーボランティアまつり』
色んな企画が満載のお祭りです。

北海道のスター大泉 洋さんのお父さん大泉恒彦さんの特別講演会があります。他、笑いヨガやピエロショー等があります。

日時 十月十八日(土) 十

一時～十五時

場所 札幌ボランティア活動センター 札幌市中央区北一条西九丁目リネージュ
ブラザ二階 入場 無料
※なお、大泉 恒彦さんの特別講演会は定員七十名まで事前申込みが必要です。皆さんお誘い合わせの上ご参加ください。

【おすすめイベント⑤】

『札幌市障がい当事者講師等派遣事業 PR講演会』
平成26年11月7日(金)

今年も第5期修了生によるPRイベントが開催されます。障害者自身の声は、障がいへの理解を深めるうえで、大きな説得力を持ち、今まで気づけなかったことを気づかせてくれることと思います。

お誘いあわせの上、どうぞたくさんの方の参加をお待ちしております。

第一部 公開座談会

(13:35～14:35)
座長 平成22年度障がい者講師養成講座修了生

出演 平成26年度障がい者講師養成講座修了生4名
牧野准子

第二部 特別講演会

(14:45～15:55)

講師 渡辺 一史氏

(フリーライター・ノンフィクション作家)

「障がい者との出会いから学んだこと」

「こんな夜更けにバナナかよの世界から」

編集後記

食欲の秋、芸術の秋、読書の秋、スポーツの秋…秋は何事に取り組むには、一番良い季節。皆さんはどんな秋をお過ごしでしょうか。先日、友人から「ファッションの秋」という言葉を聴きました。今年はずりんぐもファッションイベントがたくさん。ずりんぐの会員からモデルデビューもいっぱいでしたね。もさあ、どんなファッションで秋を楽しみましょうか。食欲の秋だけではなく、おしゃれな秋もいいですよ。ずりんぐでは、皆さまからの情報や原稿を募集しております。みんなに「お誘いあわせの上、ぜひ事務局にお寄せ下さい。次号もお楽しみに。(め)

【新規会員募集中】

各種お問合せ・申し込みは、ずりんぐ事務局まで

住所：札幌市南区南34条西10丁目3-10 三井方

電話：080-1873-8447

FAX：011-351-5628 または 011-644-0334

メール：challenge@sprng-hokkaido.net



